

機械クラブだより ー第 10 号ー

2016（平成 28）年 9 月 1 日

◎ ご挨拶	2
機械クラブ会長 M⑩ 富田 佳宏	
◎ 機械工学専攻 構成表	2
◎ 平成 27 年度総会講演会 概要	3
◎ 平成 27 年度新入会員歓迎会 開催報告	4
◎ 平成 28 年度機械クラブ第 1 回理事・代表会 議事録	5
◎ 「赤川浩爾先生を偲ぶ会」開催報告	6
◎ 赤川先生追悼文集について	7
◎ クラス会 報告	
● 松本研究室（第 5 講座）13～15 期同窓会（平成 28 年 6 月 3 日～4 日）	8
● M⑩クラス会（平成 28 年 4 月 9 日～10 日）	8
● M⑪同窓会（平成 28 年 6 月 13 日）	9
◎ 第 4 回基幹座談会「M⑫・P①回生から M⑮・P⑥回生の学生時代の思い出を語る 座談会」報告	9
◎ 寄稿文：思い出の架け橋 掲載リスト	10
◎ 機械クラブゴルフ同好会（KTCMG）報告	
● 第 165 回コンペ報告（平成 28 年 4 月 4 日）	11
● 第 166 回コンペ報告（平成 28 年 7 月 4 日）	11
◎ 機械クラブホームページのご案内	12
◎ Eメールアドレス登録のお願い	12
◎ 財務部会からのお願い	12
平成 28 年機械クラブ年会費納入者名簿（7 月中間報告）	別冊

KTC 機関誌 単位クラブだより 掲載内容

KTC 機関誌 第 83 号 の単位クラブだよりには下記項目を掲載しておりますので、そちらもご覧下さい。

- ◎ 「平成 27 年度 機械クラブ総会・講演会」報告
- ◎ 「クラブ精密 平成 28 年度（第 29 回）総会」報告
- ◎ 「機械工学科 M⑧同窓会」

◆ ご挨拶

機械クラブ会長 M16 富田 佳宏



亜熱帯のような気候に見舞われている今日この頃、相も変わらず不祥事の多発、英国の EU 離脱、テロによる無差別殺戮等に加え、国内外の火山の噴火、大地震の発生、記録的な豪雨など枚挙に暇がないほど自然災害の多発年となりそうです。今回の参議院選挙結果の我が国の社会経済情勢への影響も目が離せません。

機械クラブ会員の皆様におかれましては日ごろ機械クラブ運営に格別のご理解とご支援を賜り篤く御礼申し上げます。いつも話題となっております機械クラブ運営の活性化を行うために様々なご提言を賜り、それぞれの部会において頂戴いたしましたご提言を多方面から検討させて頂き、継続して機械クラブの活性化を図るべく取り組んでおります。幸い、各種機械クラブ主催の催しの案内に対するご回答数も多くなっているように感じております。平田総務部会長を中心に検討された結果ならびに各部会における活動内容についての理事会、副会長会議等に

おけるご報告をご覧いただき、忌憚のないご意見を賜りますようお願い致します。

同窓会は、同窓生という絆にて結ばれた団体であり、参加された方々が、旧交を温め、絆を深め、楽しい一時を過ごして頂く会員相互の交流の場を提供する様々な行事の企画・開催を行っております。さらに、同窓会での交流を通じて、若手の会員ならびに学生諸君が先輩諸氏の目覚ましい活躍を目の当りにすることによって、機械工学科を卒業したことに誇りと自信をもち、それが将来の飛躍の駆動力となることを期待致しております。さらに、教員・学生の研究支援・表彰、フォーミュラーカーやレスキューロボットなどの学生の自主活動に対する支援を行っております。加えて、大学のグローバル化に関連して、学生諸君の海外での研究発表などに対するこれまで以上の支援も要請されております。

機械クラブの活動を一層充実させ、学生諸君への支援を手厚くするための原資となる会員の皆様に納入頂きます年会費ならびに寄付金が不可欠であり、関連したお願いを本誌に掲載致しております。今後とも機械クラブの活動に対してご理解を頂き、格別の温かいご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

◆ 機械工学専攻 構成表

(2016 年 4 月 1 日現在)

	教育・研究分野	教 授	准教授	助教・助手	技術職員, 事務職員など
熱流体 エネルギー	応用流体工学 (MH-1)	山根 隆志	片岡 武		
	混相熱流体工学 (MH-2)	竹中 信幸	浅野 等	村川 英樹 杉本 勝美	
	エネルギー変換工学 (MH-3)	平澤 茂樹	川南 剛	白井 克明	
	エネルギー環境工学 (MH-4)	富山 明男	細川 茂雄 林 公祐		
材料物理	固体力学 (MM-1)	阪上 隆英	塩澤 大輝		古宇田 由夫
	破壊制御学 (MM-2)	中井 善一	田中 拓	菊池 将一 横田 久美子	
	材料物性学 (MM-3)	向井 敏司	田川 雅人	池尾 直子	
	表面・界面工学 (MM-4)	田中 克志	長谷部 忠司	寺本 武司	
設計生産	複雑系機械工学 (MA-1)	横小路 泰義	田崎 勇一		福井 喜一郎 片山 雷太
	機械ダイナミックス (MA-2)	神野 伊策		肥田 博隆	
	コンピューター統合 生産工学 (MA-3)	白瀬 敬一	佐藤 隆太	西田 勇	
	知能システム創成学 (MA-4)	磯野 吉正	菅野 公二		
	創造設計工学 (MA-5)	田浦 俊春	妻屋 彰	山田 香織	
研究基盤センター			藤居 義和		

◆ 平成 27 年度総会講演会 概要

日時：平成 28 年 3 月 25 日(金) 17:40～18:30

場所：兵庫県私学会館

講師：深見特許事務所

国際特許部 部長

佐々木 真人 氏(P19)

演題：グローバル特許

出席者：60 名

佐々木氏は、富田会長が知的財産高等裁判所の専門員になられている経緯より偶然に知り合われ、エンジニアもグローバルな形での知的財産権についての知識が必要と考えて講演を依頼された。

住友特殊金属を経て現特許事務所に入られ、同時に阪大の客員教授、東京高裁、東京地裁、大阪地裁の専門委員としても活躍されている。



講演内容概略：

1. 弁理士

知財を扱う専門家を「弁理士」と呼ぶ。弁理士の使命が法文化されたのは 2015 年のこと。

「弁理士は、知的財産に関する専門家として、知的財産権の適正な保護及び利用の促進その他の知的財産に係る制度の適正な運用に寄与し、もって経済及び産業の発展に資することを使命とする。」立派な使命があるが、いろいろな弁理士はいます。出願に際する「請求書」の作成を基本に、「意見書」「補正書」の作成も担う。弁理士の日々の仕事は、特許意匠関係の出願に関して、特許庁に対して手続きすること。

独特の言葉で、出願書類（面倒な書類）を作成していく。発明の表現方法で、権利範囲が広がったり狭くなったりする。技術の本質をどう理解するかを日々勉強している。

2. 知的財産基本法（2002 年制定）

発明、考案、植物の新品種、意匠、著作物その他の人間の創造的活動により生み出されるもの（発見又は解明がされた自然の法則又は現象であって、産業上の利用可能性のあるものを含む。）、商標、商号その他事業活動に用いられる商品又は役務を表示するもの及び営業秘密その他の事業活動に有用な技術上又は営業上の情報をいう。※情報も財産、との定義

3. 民法では「有体物」を扱うのに対して特許

では知識やアイデア等の「無体物」を扱う。

特許、意匠、著作権等あるが、特許権が一番なじみがあるはず。特許権により、独占権や、差し止め請求権、損害賠償権、譲渡権、実施権等の権利が発生する。

4. 特許制度で、発明を保護し、その内容を公開することで技術の累積的進歩を促す。

5. 特許は（有償）譲渡可能であり、実施権はライセンスとして知られている。欧米ではビジネスとして扱われており、特に係争を専門に扱う人を「パテントトロール」と呼ぶ。

6. 特許の要件

特許法上の発明として認められるには、「自然法則」を利用した「技術的思想」の「創作」のうち「高度」なものが保護対象となる。発見について、未知の物質の性質を発見して、特定の用途に利用したものも発明となり得る。

特許要件として「産業上利用性」「新規性」「進歩性」があると説明することが難しい。

7. グローバルな特許の現状

件数：日本は今 32 万件、昔は 40 万件だった、特許大国（減少した安定傾向にある）。一方、世界は右肩上がり。一番の伸びは中国、アメリカを抜いて、一位になった。世界の五大特許庁は「日本」「米国」「欧州」「韓国」「中国」で 80 % を占める。特許の出願件数として米国を抜き中国が最も多いが、中国は国内出願が殆どで国際出願は未だ少ない。

特許成立：日本では 70 % 程度成立する。ヨーロッパは 50 %

海外出願：ヨーロッパ、アメリカは 50 % 程度を海外に出願している。日本は 30 % 程度でありグローバル化面で遅れている。

優先権：日本で出願後、海外で出願の際、1 年間の優先権があって、猶予期間が得られる。この間に第三者が出願しても、新規性が守られる。

特許独立の原則：各国で特許が独立。アメリカで無効にされたからと言って、日本で無効になるものでない。国際出願をする上で 2 つの条約、方法がある。

パリ条約・・・国外で特許出願をするにあたっての取り決め。「内国民待遇」「優先権」「特許独立の原則」「属地主義の原則」の 4 つ。各国にそれぞれ出願する。（出願日を変えることが出来る）

PCT・・・加盟国に一括出願が出来る。

8. 日本の十大発明家が、選ばれている。

1. 豊田佐吉 (木製人力織機、自動織機)
2. 御木本幸吉 (養殖真珠)
3. 高峰譲吉 (タカジアスターゼ、アドレナリン)
4. 池田菊苗 (グルタミン酸ナトリウム)
5. 鈴木梅太郎 (ビタミン B1、ビタミン A)
6. 杉本京太 (邦文タイプライター)
7. 本多光太郎 (KS 鋼、新 KS 鋼)
8. 八木秀次 (八木・宇田アンテナ)
9. 丹羽保次郎 (NE 式写真電送機)
10. 三島徳七 (MK 鋼)

ドクター中松は 3,000 件以上の発明、山崎舜平氏 (フラッシュメモリ) は 6,000 件以上でギネスブック登録されている。※エジソンは 2,332 件

9. グローバル社会で戦うためには、「強いハート」できちんと主張し「下手でも英語で話す」ことが、こちらの主張を通すためには重要である、と締められた。

<質疑応答>

質問 1. 他の大学当時の特許 (職務発明) は大学に帰属するので今の大学で使おうとすると「特許料を払え」と言われる。発明者は自分。解決する方法はないか?

回答→別法人となっているので、残念ながら、解決はできない。純粋な研究のための実施は法律で守られているが、ビジネスと絡むとそうはいかない。あとは交渉力の解決しかないと思われる。

質問 2. 組合せの特許はダメだと言われる。どういうことなのか?

回答→2つの特許があってもその二つが同時に実施できない=組合せできないことが証明できれば特許性が認められ得る。一方、組み合わせで顕著な効果が現されるのであれば一異質の効果が検証できれば認められる場合がある。

◆ 平成 27 年度「新入会員歓迎会」報告

日時: 平成 28 年 3 月 25 日(金)

場所: 兵庫県私学会館

懇親会・新入会員歓迎会は昨年同様に平田明男総務部会長の司会のもとに進められた。富田会長から新入会員を歓迎する挨拶があったあと、専攻長の磯野先生の音頭で乾杯し、懇親会がス

タートした。宴の半ばに表彰の場が設けられ、以下の学生が表彰された。

KTC 理事長賞

長谷 貴之 (大学院博士課程前期課程 2 年)

国際学術誌および学会での成果発表、複数機関からの賞の受賞など研究活動における著しい成果

機械クラブ会長賞

村松 瑛 (大学院博士課程後期課程 1 年)

神戸大学体育会サイクリング部における顕著な活躍

機械クラブ国際活動奨励賞

船橋 駿斗 (大学院博士課程前期課程 1 年)

ANS 2015 Winter Meeting and Nuclear Technology Expo, 2015 年 11 月 8-12 日, Washington DC, USA

高須賀 裕介 (大学院博士課程前期課程 2 年)

22nd Int. Cong. Sound and Vibration, 2015 年 7 月 12-16 日, Florence, Italy

石村 尚平 (大学院博士課程前期課程 2 年)

Lasermethoden in der Stroemungsmesstechnik, 2015 年 9 月 8-10 日, Dresden, Germany

富田会長から受賞者に賞状と副賞が授与された。続いて恒例の校歌合唱が行われた。大先輩が神戸高等工業学校校歌を、さらに数十名の卒業・修了生が加わって神戸大学学歌を壇上で大合唱した。本年度は平田総務部会長の依頼で参加学生向けに学歌を事前に案内していた。その効果はあったように思うが、参加された方々の感想はいかがだろうか。(歌詞付きの学歌は YouTube で見ることができます。「神戸大学 校歌」で検索ください。)

最後に、藪前会長から新入会員へのお言葉をいただき、白瀬教授の音頭で会は締めくくられた。



校歌・学歌斉唱の様子



校歌・学歌斉唱の様子

◆ 平成 28 年度機械クラブ第 1 回理事・代表会 報告

M⑱ 平田 明男

日時：平成 28 年 6 月 15 日(土) 15:00～17:30

場所：工学部 C4-402 会議室

出席者：24 名

議事概要：

1. 会長挨拶

富田会長より、日頃のご協力に感謝する。同窓会は緩やかな形で楽しい時間を過ごしていただくようご案内を差し上げているが、応答にも改善のあとがみられるようになってきた。フォーミュラ、レスキューロボへの支援を行っているが、大学のグローバル化への要請もある。このためには年会費、ご寄付が不可欠であり、引続きご協力をお願いする旨の挨拶があった。

2. 機械工学専攻の近況（磯野専攻長）

機械工学専攻の近況について、学科構成、カリキュラム改訂、卒業生の進路、新たな大学ビ

ジョンの実現に向けての取組、教員の組織改訂など幅広く報告いただいた。

3. 役員改選

M⑰柄谷祐司氏の監事退任に伴う後任人事について平田部会長より提案のあったM⑱國光秀昭氏に全会一致でお願いすることとした。

4. 総会後の各部会の動きについて

平成 28 年度機械クラブ活動計画および活動状況及び KTC 活動報告にもとづき各部会長、理事より報告。

総務・HP 部会（平田部会長）

メールアドレス登録について、機関誌で従来より目立つ工夫を考えたい。（平田部会長）

→ 年会費振り込み用紙があるので、2 色刷りにしている。2 色刷りの「赤色」を用いた表現であれば、コスト増なく対応できる旨回答あり。（副島部会長）

財務部会（副島部会長）

9 月発行の機械クラブだよりの発行部数を決めてほしい。

→ 討議の結果、今回は従来通り（1500 部）とし、来年 3 月発行分に合わせ、60 歳未満の希望者を確認することとした。

5. その他討議

副島財務部会長より、年会費の集まり状況がよくない旨報告あり。会費の振り込みについて、改めて、依頼文書を総務部にて発行する。その文書を用いて、各理事・代表者が、各 10 名以上のクラスメイトに声掛けし 1 名以上の新たな振り込みメンバー発掘を目指す事を全会一致で決定した。



(後列左から) P⑥井宮, M⑰常次, M⑪馬場, M⑫光田, M⑩竹内, M⑨松本, M⑩寺井, M⑨小澤, M⑬岡, M⑩尾本, M⑫西下, M⑱副島, M(30)尾野, (前列左から) M⑫藪, M⑩宇田, M⑪赤川, M⑧坂口, M②杉浦, M⑨永島, M⑬富田, M⑱平田

平成 28 年度機械クラブ第 1 回理事・代表会 集合写真 (撮影：M(56)西田)

◆ 「赤川浩爾先生を偲ぶ会」報告

M③⑥ 浅野 等

神戸大学名誉教授であられる赤川浩爾先生が昨年 12 月 8 日、肺炎のため 90 歳でご逝去されました。赤川先生とご縁のあった多くの卒業生に集まって頂き、学生時代の思い出やエピソードを語り合いたいと考え、「偲ぶ会」を下記の通り企画、開催いたしました。



開催日：2016 年 7 月 3 日（日）12:00～14:00

会 場：ポートピアホテル

赤川先生は、1946 年 9 月に京都帝国大学工学部応用物理工学科を卒業され、同年神戸経済大学に赴任されました。工学部には 1950 年 4 月に助手として赴任され、1952 年 8 月に助教授、1958 年 7 月に教授に昇任され、1988 年 3 月退官されるまで 38 年間神戸大学工学部で教鞭をとられたことになります。1988 年 3 月は M③⑥浅野が学部卒業した年であり、講義から卒業研究まで面倒を見ていただいた最後の回生となります。

赤川先生は、大学時代、飛行機の研究・設計開発者を目指されていたとのことですが、戦後すぐということもあり、飛行機開発は日本ではできず、神戸大学赴任時には研究課題を模索されていたとのこと。その中で、大阪大学 石谷 清幹 先生に出会われ、ボイラ研究、そして気液二相流の研究に取り組まれるようになったとのこと。私が 4 年生の時には、既に石谷先生は退官されていましたが、旧石谷研とボイラ杯軟式野球大会を年 1 度開催していたので、赤川研卒業生は覚えておられると思います。

大学では、ボイラに関わる研究を進められるとともに、機械学会では気液二相流に関する研究懇話会や調査研究分科会をすすめられ、その成果は「気液二相流技術ハンドブック」として出版されるとともに、混相流学会が設立される礎となりました。

2004 年には瑞宝中綬章を受章され、2007 年 5 月 11 日には機械クラブ主催「名誉教授は語る」講演会において「機械工学科の発展と共に過ごした 40 年と気液二相流研究の楽しい思い出から」と題し、講演されました。2015 年 12 月 8 日には正四位に叙位されました。

会場は、赤川先生の退官パーティをしたポートピアホテルとし、立食形式としました。M①回生から M③⑥回生まで、赤川研に加えて赤川研卒業生でもある坂口忠司先生の研究室の卒業生を中心に約 730 名に E-mail および往復はがきで案内を出し、76 名の方にご出席いただきました。赤川先生の奥様である赤川範子様にもご出席いただきました。既に退職され実家に戻っておられる方、勤務地が遠く、都合がつかなかった方、お年を召されており夏の外出は困難である方など、参加したいが断念せざるを得ないという方も多くおられました。坂口忠司先生、藤井照重先生に出席いただくとともに、卒業生以外としては元近畿大学の多賀正夫先生、神戸大学技官から米子高専に移られた村側博康先生、高知高専の竹島敬志先生、現在、神戸大学助教の杉本勝美先生、村川英樹先生にもご出席いただきました。

会場には、瑞宝中綬章を受章された時の顔写真と正四位の位記をかざり、先生の功績を紹介するためのプロジェクターを準備しました。

先生のご遺影を前に 1 分間の黙とうをし、先生のご経歴を紹介したのち、M②井上理文様に赤川先生の思い出と献杯のご挨拶をお願いしました。その後、立食の歓談としましたが、多賀先生、M③馬場惇様、M③黒岩俊文様、M④松本定喜様、M⑤村上育勇様、M⑧峰野保様、M⑨岩元勇様、M⑨永島忠男様と順に思い出のスピーチをしていただきました。

赤川先生は、お酒は飲まれませんでした、研究の話をするのは好きな方だったこと、過去の論文を見ると現在でも難しそうな大掛かりな実験をされており、当時学生で研究を遂行されてこられた方は結構苦勞されていただろうと推察されることから、過去の論文の実験装置や数値解析のフローチャートをスライドで映写し、その論文で連名となっている方を指名し、思い出を語っていただきました。「当時は出来ない学生で、すっかりそのことは忘れてしまい、・・・」とスピーチを始められる方もおられましたが、話の最後の方になると実験装置を見て思い出されたのか、スピーチ後もスライドを感慨深く見ておられたのは印象的でした。学舎が六甲台に移された当初には、ボイラ水循環の実験として、高さ 6m 強のループを組み上げ、加熱部は耐熱煉

瓦積みの燃焼炉とするなど、かなり無茶な実験をされており、先生の情熱だけでなく、それに応える学生の努力もあったのだと思います。

研究の話をしていると、2時間という時間は瞬く間に過ぎ、最後には赤川範子夫人のご挨拶を頂き、偲ぶ会を終えました。

赤川先生の過去の論文を改めて見直し、赤川先生が気液二相流をただ物理現象として研究されているのではなく、常にボイラ研究に向いておられ、実用を意識されていたことを改めて認識することができ、私にとっても非常によい勉強になりました。改めて赤川浩爾先生のご冥福をお祈り申し上げ、心より哀悼の意を表したいと思います。偲ぶ会にお付き合いいただいた赤川範子様、そしてご参加・ご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。

◆ 赤川先生追悼文集について

M17 常次 正和

赤川先生が2015年12月8日、90歳で逝去されました。赤川研究室の卒業生有志他赤川先生に所縁のある人々で、先生の思い出を書き綴り、先生への追悼の言葉に代えたいと思います。

現在、この文集の趣旨を可能な範囲の方々にお伝えし、投稿の呼び掛けをしております。

しかし、赤川先生が活躍されました分野と範囲を考えますと、先生に所縁のある方々全てに呼び掛けが出来ているとは到底思えません。

そこで、お願いがあります。この記事を読まれた貴方から、赤川先生に所縁があると思われる方々に、恐れ入りますが、こんな取り組みが

あるよとお伝え頂きたいのです。そして、「よし。私も一つ書いてみるか。」と言われる方がおられましたら、末尾に記載しています私（常次）までご連絡頂きたく、よろしくお願い致します。

執筆要領他の資料をその方に当方より送らせていただきます。よろしくお願い致します。

追悼文投稿先・連絡先

常次 正和 (M17)

E-mail: tsunetsugu_0330@kcc.zaq.ne.jp

Tel & Fax: 078-411-7230

現在、機械クラブホームページに掲載されている追悼文を掲載順で以下に記します。今後、随時更新いたしますので、是非、機械クラブホームページにご訪問下さい。

<http://home.kobe-u.com/ktcm/>

- ・常次 正和 (M17) 「赤川先生の思い出」
- ・三好 孝徳 (M17) 「赤川先生へ」
- ・村上 育勇 (M5) 「赤川講座の思い出」
- ・大西 則彦 (M8) 「赤川先生のこと」
- ・竹嶋 健次郎 (M6) 「赤川浩爾先生の追憶」
- ・馬場 啓利 (M6) 「赤川先生とM6第5講座（熱力学）の仲間達」
- ・藤原 康弘 (M7) 「復活の希望」
- ・小倉 啓助 (P2) 「ウソでもいいから「優秀な成績で」」
- ・山村 裕 (M1) 「同窓会で真の赤川先生を知る」
- ・小澤 守 (M20) 「追悼 赤川浩爾先生」
- ・藤井 照重 (M13) 「追悼 赤川浩爾先生のご逝去を悼む」
- ・児島 康夫 (M4) 「恩師赤川先生の思い出」



「赤川浩爾先生を偲ぶ会」集合写真

- ・馬場 惇 (M③)「赤川先生の思い出」
- ・土岐 忠弘 (M⑮)「水蒸気と湯気」
- ・安田 匡臣 (M⑥)「赤川先生の思い出」
- ・井上 理文 (M②)「赤川先生を偲んで」
- ・黒岩 俊文 (M③)「赤川先生の思い出 ～先生の飛行艇との係わりと学生時代に触れて～」
- ・濱口 八朗 (M⑬)「赤川先生の思い出」
- ・永島 忠男 (M⑨)「赤川浩爾先生を偲んで」
- ・坂口 忠司 (M⑧)「追悼文 赤川浩爾先生を偲んで」
- ・栗井 清 (M⑰)「赤川浩爾先生から学んだこと」
- ・芦分 範之 (M⑱)「赤川先生の思い出」



(左から) 木本, 白石, 松嶋, 横江, 渡辺, 大西, 萩野
山翠荘玄関前にて



(左から) 大西, 萩野, 松嶋, 白石, 渡辺, 横江夫人, 横江
トヨタ産業技術記念館前にて
松本研究室 13～15 期同窓会 集合写真

◆ クラス会報告

➤ 松本研究室 (第 5 講座) 13～15 期同窓会

松本研究室 (第 5 講座) 13～15 期の同窓会を 6 月 3～4 日に愛知県蒲郡市で開催しました。

2 年毎の本同窓会は今回 5 回目となり、病気やけがなどで当初予定より減りましたが数年ぶりの参加者も含め 7 名が集まりました。

3 日の午後 JR 蒲郡駅で集合後、宿舎にチェックインし、夕方から宴会となりました。さすがに 70 歳を過ぎて、食事アルコールも以前ほどの量ではなくなりましたが、出席者はもちろん、同期の仲間の近況やとくに病気の経験談に花が咲き、部屋に帰ってから深夜まであつという間の楽しい時間を過ごしました。

翌日は名古屋市に移動し、トヨタ産業技術記念館を見学しました。自動車館、繊維館とも実際に作動する展示も多く、ものづくりの面白さを実感するとともに、技術史を理解する点でも大変興味のあるものでした。卒業後、機械屋として半世紀を過ごしてきた参加者全員強い印象を受けました。

同記念館で昼食をとり、当日お越しになった横江夫人と多くのメンバーがほぼ 50 年振りにお会いするハプニングもあり、歓談後次回 2 年後の幹事を渡辺さんをお願いすることにして、再会を約し帰宅の途に就きました。今回は松嶋さんに幹事役をお願いしました。お世話になりました。

➤ M⑯クラス会

M⑯ 柳原 史朗

4 月初旬とは思えぬ暖気に包まれた 4 月 9 日～10 日、1 泊 2 日の同窓会としては 2 年半ぶりに赤穂温泉『かんぼの宿赤穂』にて開催しました。この時期に同窓会を開催したのは、昔年桜花のもと、新たな人生がスタートした事を再確認し変わらぬ同窓の絆を深め、以て今後の人生謳歌の糧にしたい！との思いからです。満開の桜にもギリギリ間に合い幹事としてホッとしました。

参加者は 12 人でしたが愛知&岐阜の友も遠方から駆け付けてくれ『数を質』でカバーする盛大な会合になりました。いつもの事です『お～元気？変わらんあ！何しとん？まだ稼いどん？ええ加減に足洗ったら～？！』等々、遠慮の無い挨拶から懐かしの交流がスタートします。さすがに全員 70 歳超の為、健康関連の話題が圧倒的で各自一つ二つ軽病を抱えているようです。又、留年率の高さも自負？している学年で、会

名を M-16.5 会に変更したら?との冗談提案も出る程、屈託のない奔放な集団です(笑)。今回参加してくれた地元の赤穂高校出身者から地域観光情報等々のネタも頂き有意義でした。2日目はゴルフ組と観光組に分かれ充実した時間を楽しみ、再会を約して別れました。さあ～諸君！元氣出して頑張ろう！



(後列左から) 西森, 田中, 柳原, 乙竹, 富田, 橋口, 福永
(前列左から) 市橋, 成松, 野崎, 大和, 神吉
M⑩クラス会 集合写真

➤ M⑪同窓会

M⑪ 笹倉、菅野

昨年に引き続き M⑪の同窓会を平成 28 年 6 月 13 日 12 時半から神戸オリエンタルホテルで開催しました。これまで 2 年に一度同窓会を開催してきましたが、今年は多くの方が古希を迎える年に当たるため特別に開催しようということになり、打診した結果、20 名の賛同を得て開催する運びとなりました。遠くは群馬や香川からも駆けつけていただき、参加意欲の高さに敬意を



(後列左から) 阪井, 増井, 吉村, 桜井, 本岡
(中列左から) 萩原, 石原, 笹倉, 藤田, 川越, 北川, 平松, 常次, 岩崎, 倉阪
(前列左から) 宇佐見, 菅野, 岩崎, 栗井, 石井

M⑪同窓会 集合写真

表します。

例年と同じく 4 名の物故者に黙とうをささげた後に前回幹事の 3 講座桜井氏の挨拶で開演、乾杯後は学生当時の思い出話や会社人生の話に会話が弾み 2 時間半はあっという間に過ぎてしまいました。最後に記念写真といつもと同じく旧制姫路高等学校寮歌を斉唱しお開きとしました。

次回は 5 講座が担当することで話がまとまり皆その時を楽しみに解散しました。

◆ 第 4 回基幹座談会「M②⑤・P①回生から M②⑤・P⑥回生の学生時代の思い出を語る座談会」報告

座談会部会長 M⑦ 常次 正和

開催日時：平成 28 年 5 月 15 日(土)

13:00～16:45

開催場所：工学部本館 2 階 多目的会議室

参加者数：34 名

機械クラブでは、回生毎の同窓会が適宜開催され、その様子が機械クラブホームページの「クラス会だより」に掲載されています。これに加えて、新たに回生・年齢を跨いだ同窓生の知己を得て、機械クラブ全体の会員間の親睦と交流を増進するための集いとして、「学生時代の思い出を語る座談会」が、これまでに 3 回実施されています。それらの報告はそれぞれ、ホームページの「機械クラブだより」第 6 号、第 7 号、

第 8 号に掲載されています。この度、それらに続く回生による第 4 回基幹座談会^注を「M②⑤・P①回生から M②⑤・P⑥回生の学生時代の思い出を語る座談会」と題して、開催いたしました。

(注：新たな形式の座談会として「第 1 回機械技術者生活を語る座談会」を 2015 年(平成 27 年)10 月に開催しました。これと区別するために、従来の座談会を「基幹座談会」と名称変更しました。)

第 4 回基幹座談会には、M と P を含む各回生から 3 名、合計 18 名の方々が出席されました。掲載しております機械クラブ関係者を含む参

加者名簿と全員の集合写真をご覧頂ければと思います。同期の方々、同じ講座の方々、同じ企業で働かれた方々は、懐かしい顔を見つけられるのではないのでしょうか。

座談会の初めの部分で、ご出席の 18 名の方々には、お名前、回生、卒業指導の先生のお名前、卒業後のご活躍のごく簡単な自己紹介に加えて、現在熱中している事、特技、趣味等から、これという事項を一つご紹介頂きました。これによって、参加された皆さんの交流の切っ掛けが、一層増大することを期待する次第です。

今回お集まり頂きました「M②①・P①回生から M②⑤・P⑥回生」の皆さんの時期は、生産機械工

学科が新設され、機械系工学科の学生数が、50 名から倍の 100 名に増えた時期でもあります。また、1979 年には念願の博士課程が設立され、本学科出身の 1 期生も誕生しました。

このような時代背景のもとに、座談会の第 1 部では、事前アンケートで、多くの方が 1 位に挙げられたテーマ「卒業研究、研究テーマ」について、それぞれの方からお話を頂きました。

次いで第 2 部では、教養課程、授業、製図、学内実習、先輩の思い出、学外活動（部活やサッカー対抗試合）、修士入学、授業が卒業後の仕事に役立った事等、それぞれの思い出が語られました。

第 4 回基幹座談会 出席者

(順不同、敬称略)

回生	氏 名	卒業研究の講座の先生	回生	氏 名	卒業研究の講座の先生
M②①	井上真二	進藤明夫, 瀬口靖幸, 佐藤正明	第 3 回座談会実行委員会委員		
	伊藤 登	川井良次	M⑧	坂口忠司	赤川浩爾, 武藤万秋
	中野直和	木村雄吉	M⑨	永島忠男	赤川浩爾, 武藤万秋
P②	井元 学	赤川浩爾, 坂口忠司, 濱口八朗	M⑭	酒井善正	川井良次, 岩壺卓三
M②①	金井 清	松本隆一, 中島 健		土井隆雄	中川隆夫
	玉屋 登	岩壺卓三(前), 瀬口靖幸(後)	M⑮	堀 英教	川井良次, 岩壺卓三
P③	岸本好司	赤川浩爾, 坂口忠司	M⑰	常次正和	赤川浩爾, 坂口忠司, 沢井洋征
M②②	木村武清	松本隆一		八十川信介	鳴瀧良之助, 岩田一明, 森脇俊道
	那須 潔 (旧姓: 為川)	赤川浩爾, 坂口忠司	M⑲	山岡高士	進藤明夫, 瀬口靖幸, 佐藤正明
M②③	柳生雅雄	赤川浩爾, 坂口忠司, 藤井照重	M⑳	江口 隆	川井良次
	篁 進	小寺 忠	M㉑	多田幸生	進藤明夫, 瀬口靖幸
P④	野崎富夫	井上 清	P⑥	井宮敬悟	坂口忠司
M②④	杉村延広	岩田一明, 森脇俊道, 上田完次	M㉓	白瀬敬一	岩田一明, 森脇俊道
	田中 守	川井良次, 岩壺卓三	M㉔	細川茂雄	中島 健
	本岡義啓	赤川浩爾, 坂口忠司, 藤井照重	M㉕	林 公祐	中島 健, 富山明男
M②⑤	伊藤 裕	赤川浩爾	機械クラブ役員代表等		
	今井 武	中川隆夫, 猪飼 靖	M㉖	平田明男	井上 清
P⑥	井宮敬悟	坂口忠司	P⑧	高橋克典	岩田一明
			M㉗	藤井正章	森脇俊道



(後列左から) 八十川(M⑰), 常次(M⑰), 山岡(M⑲), 細川(M㉔), 白瀬(M㉓), 土井(M⑭), 永島(M⑨), 坂口(M⑧), 酒井(M⑭), 平田(M⑮), 高橋(P⑧), 藤井(M㉗), 多田(M㉑), 江口(M⑳), 林(M㉕), 堀(M⑭), (前列左から) 井宮(P⑥), 今井(M㉑), 伊藤(裕)(M㉑), 本岡(M㉒), 田中(M㉒), 杉村(M㉒), 篁(M㉑), 柳生(M㉑), 野崎(P④), 那須(M㉑), 木村(M㉑), 岸本(P③), 玉屋(M㉑), 金井(M㉑), 井元(P②), 中野(M㉑), 伊藤(登)(M㉑), 井上(M㉑)

第 4 回基幹座談会 集合写真

座談会終了後、工学振興会館において開催しました懇親会では、同事務局進藤様ご手配の美味しい料理とお酒を友に、歓談が続きました。今回の座談会も、遠くからのご出席も頂いて無事終わることが出来ました。これは一重に、ご出席くださった皆様方並びに関係各位の熱意とご尽力の賜物です。ここに記して感謝の意を表させていただきます。

なお、これまでの座談会と同様、当日話された思い出を中心に寄稿文として纏めて寄稿頂くよう、ご出席の皆さんにお願いしました。出席された皆様全員からのご寄稿を期待しております。

◆ 寄稿文：思い出の架け橋 投稿リスト

座談会部会

ご投稿頂いた寄稿文のうち、機械クラブだより第9号発行以降のリストを掲載順で以下に記します。現在、機械クラブホームページには20編の寄稿文が掲載されておりますので、是非、機械クラブホームページにご訪問下さい。

<http://home.kobe-u.com/ktcm/>

a. 玉屋 登 氏 (M⑭)

「会社生活を通じた学生時代の思い出」

◆ 機械クラブゴルフ同好会 (KTCMG)報告

I. 第165回コンペ報告

第165回コンペをH28年4月4日(月)に東条の森カントリークラブにて開催しました。今回も、予定が重複した方が多く、2組での実施となりました。

松場恒夫様 M⑫が優勝され、準優勝は井上理文様 M②、3位は大和敏郎様 M⑯と、

幅広い年齢層の方々が活躍されました。おめでとうございます。

・前回の懇親会では幹事交替の話があったが、種々の理由で光田氏が続投することになりました。

・KTCMG は従来通りとすることが確認されました。

第165回 KTCMG の結果概要

➤ 実施年月日：平成28年4月4日(月)

➤ 場 所：東条の森カントリークラブ

➤ 参加者数：8名

➤ 上位入賞者の成績

順位	氏名	回生	GRS	HDCP	NET	新 HDCP
優勝	松場 恒夫	M⑫	87	20	67	14
2位	井上 理文	M②	97	30	67	24
3位	大和 敏郎	M⑯	88	16	72	14



(後列左から) 松居(M⑪), 松場(M⑫), 松本(M⑨), 永島(M⑨), 井上(M②),

(前列左から) 橋本(M⑫), 光田(M⑫), 大和(M⑯)

第165回ゴルフコンペ集合写真

II. 第166回コンペ報告

第166回コンペを平成28年7月4日(月)に東条の森カントリークラブにて開催しました。今回も、予定が重複した方が多く、2組(僅か5名)での実施となりました。

光田芳弘様 M⑫が優勝され、準優勝は永島忠男様 M⑨、3位は西下俊明様 M⑫と、酷暑の中、おめでとうございます。

永島様より、今後、報告書には優勝並びにブービーの方のワンコメントを掲載しては、との提案が有り、実施することとしました。

★優勝者 光田芳弘：大好きな東条コースでパートナーにも恵まれ、大感激です。

★ブービー 松本啓史：守りのゴルフより、攻めのプレイが出来る東条コース！結果はBBで残念！次回を楽しみにしています。

次回は10月4日ですので、皆様、ご予約のほど、お願いします。

第166回 KTCMG の結果概要

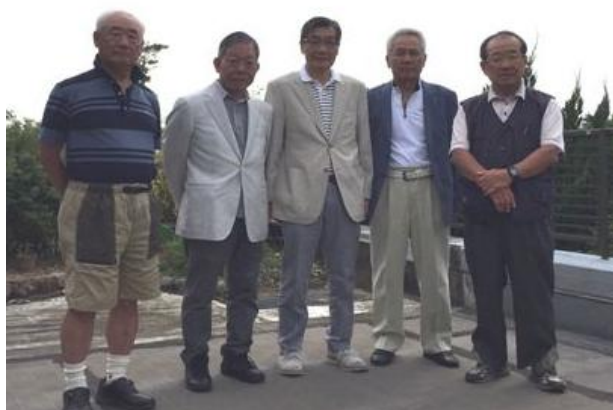
➤ 実施年月日：平成28年7月4日(月)

➤ 場 所：東条の森カントリークラブ

➤ 参加者数：5名

➤ 上位入賞者の成績

順位	氏名	回生	GRS	HDCP	NET	新 HDCP
優勝	光田 芳弘	M⑫	97	30	69	21
2 位	永島 忠男	M⑨	101	32	69	26
3 位	西下 俊明	M⑫	97	24	73	21



(左から) 西下(M⑫), 永島(M⑨), 松本(M⑨), 光田(M⑫), 大和(M⑯)

第 166 回ゴルフコンペ集合写真

◆ 機械クラブホームページのご案内

URL : <http://home.kobe-u.com/ktcm/>

機械クラブでは活動のようすを会員の皆さまにお伝えするため、ホームページに、各種行事の案内 および開催報告、クラス会報告に加えて、卒業生の方々による寄稿文を掲載しております。また、「機械クラブだより」のバックナンバーもご覧いただけます。神戸大学学歌、神戸高等工業学校校歌、寮歌など、紙面ではお伝えできない情報も充実しております。掲載情報を随時更新しておりますので、ホームページもご覧ください。

◆ E メールアドレス登録のお願い

ホームページの更新情報をいち早く会員の皆様にお伝えするため“メール配信システム”の運用を進めております。現在 4 人に 1 人の登録をいただいておりますが、未登録の皆さまにおかれましては、機械クラブ (ktcm@kobe-u.com) までご連絡下さるようよろしくお願い申し上げます。

◆ 財務部会からのお願い

財務部会長 M⑯ 副島 宗矩

今年は会費納入の お願い活動を行いますので、ご協力よろしくお願い致します。

年会費は 2000 円です。

複数年分 (5 年分等) の納入を歓迎します。

年会費、ご寄付の納入方法①

別冊の年会費納入者名簿からゆうちょ銀行「払込取扱票」を切り取り、金額の内訳、お名前、おところ等をご記入の上、ゆうちょ銀行からお振込をお願いします。ゆうちょダイレクトからも取扱票へ記載の口座番号をご利用下さい。

別冊はホームページへは掲載しておりません。
ゆうちょ銀行の口座番号は次の通りです。

口座番号 0 1 1 4 0 - 2 - 6 0 6 3 2

加入者名 神戸大学機械クラブ

年会費、ご寄付の納入方法②

三井住友銀行 普通預金 六甲支店 (421)

口座番号 1202658

口 座 名 神戸大学機械クラブ (カナ表記 : コウベ タ イカ クキカイクラブ)

へお振込をお願いします。

三井住友銀行をご利用される場合はお名前の直後に、卒業年または回を入れてください。

クラス会でまとめて納入頂くことも歓迎します。納入者名簿、納入方法等に不明点がありましたら、下記へお問い合わせください。

【機械クラブだより 第 10 号】

発行所 : 神戸大学機械クラブ

発行人 : 機械クラブ会長 富田 佳宏

発行日 : 2016 年 9 月 1 日

所在地 : 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻内

URL : <http://home.kobe-u.com/ktcm/>

問合せ窓口 : 機械工学専攻事務室

Tel : 078-803-6152

E-mail : ktcm@kobe-u.com

(原則 E-mail でお願いします。電話での問合せの場合、担当者に取り次ぎし後日担当者から回答することになります。)